



奈良県宇陀市の農業

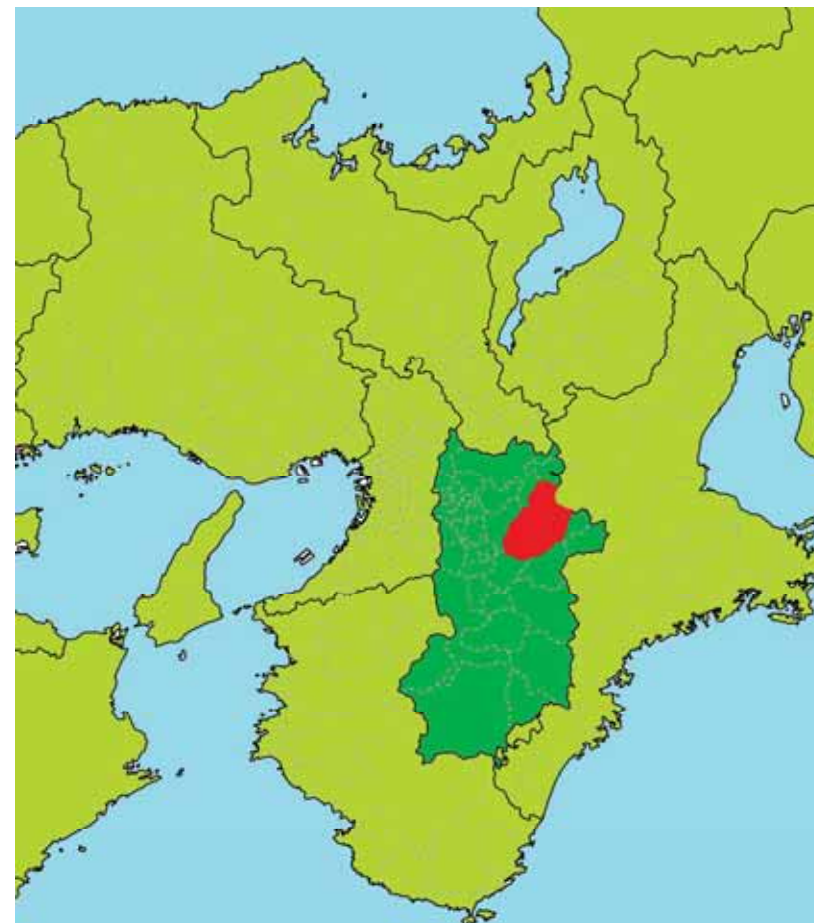
**宇陀市は有機農業や捕獲鳥獣の利活用など
地域資源を活用した持続可能な地域振興を目指します**



宇陀市

立地・環境

- ・宇陀市は、奈良県の北東部に位置し、北は奈良市、山添村、西は桜井市、南は吉野町、東吉野村、東は曽爾村、三重県名張市に接しています。
- ・宇陀市の面積は248km²であり、奈良県全体の6.7%を占めています。
- ・土地利用の状況は、山林が全体の74%を占めており、農地は8%です。
- ・大和高原とよばれる高原地帯に位置しており、夏の冷涼な気候を活かした農業が盛んです。



奈良県と連携し、奈良県独自の取組みである**特定農業振興ゾーン**を**伊那佐東部地区**（51.5ha）や、**大宇陀政始北部地区**（42.4ha）で設定し、農業の効率化や農地整備等を行い、**高収益作物の生産拡大**や**品質・生産性の向上**を取り組んでいます。

目指す将来像

大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した
軟弱野菜、有機野菜、大和野菜、花き等の生産拡大



栽培が盛んな軟弱野菜
(ミズナ、コマツナ、ハウレンソウ等)



有機野菜



花き（ダリア）
大和野菜
高収益作物など



取組み

- ・農地中間管理事業を活用して、農業法人や大規模農家、新規就農者など多様な担い手に農地を集積
- ・用排水路施設の更新や整備、土層改良等の基盤整備
- ・高収益作物の生産拡大のためハウスなどの施設整備を進め、省力化のためスマート農業の導入を検討